



区民

か

わ

ら

版

市政懇談会が開催されました

この程、区民と市政をつなぐパイプ役として活躍していただいている山科区市政協力委員連絡協議会の各学区会長と市長との懇談会が開催されました。

懇談会では、連絡協議会会長の川井代表から、「私たちが住む山科区が良くなるよう皆さんと力を合わせ頑張っていきたい」と挨拶がありました。

次に、門川市長から日頃の協力と支援に対する感謝の意と、市政課題や方針に対する決意が述べられたあと意見交換が行われ、親睦を深めました。



問合せ先 区まちづくり推進課(☎592-3088)

第4回

子どもの文化フォーラム

～まちっこ、かえっこ、あそびっこ～

6月8日(日) 午前11時～午後4時30分
東部文化会館(柳辻西浦町1-8)

今年も東部文化会館で、子どもたちが育つ空間をともに創り出すためのきっかけの場所として、子どもの文化フォーラムを開催します。

お誘い合わせのうえお越しください。

音楽劇団てんてこ

「てづくり楽器いっぱいコンサート」

時間 ①午後0時30分～(開場正午)
②午後3時～(開場2時30分)
費用 子ども券(3歳以上中学生以下)
前売 500円、当日600円
大人券(5月26日から販売)
前売1,000円、当日1,200円
親子ペア(大人1子ども1)券
(5月25日まで販売) 前売1,000円
コンチク(竹楽器演奏体験)券
無料、入場券購入者のみ、先着順

楽器づくりワークショップ (紙で楽器を作成)

時間 午前11時30分～ 4回(各30分)
費用 無料

ステージコーナー(ダンスや空手)

時間 正午～午後4時
費用 無料

あそびコーナー

時間 午前11時～午後2時30分
費用 無料



残したい 山科の自然

～区民の誇りの木～

遺跡 蓮如上人墓 クスノキ(くすのき科)
常緑高木 高さ25.5m 幹周4.50m

蓮如上人は、本願寺八代として各地で活発な布教活動を行い、衰微していた本願寺を再興し巨大教団発展への基礎を築いたあと、1499年85歳で山科にて生涯を閉じました。この御廟所を挟んで、江戸時代中期には、東・西本願寺山科別院が建立されました。



門と築地に囲まれた蓮如上人の御廟所の前にあるクスノキは、大きな幹が低い位置で分かれ、背高くそびえている姿は周囲からもよく目立ち、力強さを感じさせます。

かえっこ(おもちゃの交換など)

時間 午前11時～午後4時45分
費用 無料



申込・問合せ先 東部文化会館(☎502-1012)

山科の古代を探る

第2回 天智天皇陵

山科区北部の地名「御陵」は、天智天皇の山科陵に由来するものである。JRの車窓から眺めると、うっそうと木々が茂る山陵と長い並木の参道が印象的であるが、古代における兆域(山陵の領域)はもっと広大であった。東西南北がそれぞれ14町(1,500m強)だったというから、今の御陵地区全体がすっぽり兆域に含まれていたことになる。

陵墓の大きさがそのまま権力の強さを示すわけではないが、天智は確かに特別な古代天皇であった。大化改新、対外戦争、法制の整備、

文芸の興隆——中央集権に向かう7世紀中葉の歴史は、いつも天智天皇(中大兄皇子)を中心に動いていた。667年、彼は近江国大津に王宮を遷すが、その結果、山科は首都近郊の要地として注目されるようになった。天智天皇陵が山科に営まれたのも、そのことと無関係ではないだろう。

671年に天智が死去すると、すぐさま山陵の造営が始められた。王陵にふさわしく、巨大な方形壇を造り、その上に径40mの八角形墳丘が築かれていった。やがて半年が過ぎたころ、工事に駆り出された役民に武器が配られている、という噂が流れた。これを聞いた大海人皇子は身の危険を感じ、ついに挙兵したと伝えるが、こうして大規模な内乱が始まり、近江朝廷の滅亡と大海人の即位(天武天皇)

をもたらしたのである。

それにしても、この壬申の乱によって、天智天皇陵はどうなったのであろうか。未完成のまま造営が中止されてしまったという説もあるが、確たることは分らない。いずれにせよ、7世紀末には大規模な修理が行われ、山陵としての威儀が整えられた。その後も奈良時代を通じて、天智は律令体制を創出した天皇として顕彰され、天智陵も特別扱いを受け続ける。

8世紀末、それまでの天武系皇統がとだえ、桓武天皇が即位すると、「天智天皇—施基皇子—光仁天皇—桓武天皇」という天智直系の皇統が格段に重視されるようになった。都が長岡京・平安京に移さ



れたのも、天智の近江大津宮との関連が考えられよう。山科は再び首都の近郊地として浮上し、その北辺に鎮座する天智天皇陵は、新皇統の始祖の王陵として篤い崇敬を受け、朝廷からしばしば奉幣使が遣わされることになるのである。

京都大学大学院文学研究科
吉川真司准教授執筆